

重点取組名	集落営農推進
普及活動担当	福島県県中農林事務所須賀川農業普及所
主要な活動地域・対象農業者	管内全域及び須賀川市仁井田、下江花、今泉新田、鏡石町成田、天栄村南沢、石川町沢田新屋敷、玉川村山小屋、浅川町染、平田村九生滝、古殿町下鵬巣
取組結果・成果 〈取組みのねらい〉	<p>〈取組みのねらい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の水田の担い手、農用地利用改善団体等の活動を支援し、活性化することにより、集落営農組織を育成発展させ、水田農業改革を推進する。 <p>〈取組結果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 重点対象10集落と一般対象45集落の集落営農推進 担い手への水田利用集積面積の拡大(152.1ha) 水稲直播栽培面積の拡大と生産性向上(45ha) 特別栽培米等の売れる米づくりによる経営の安定(12.5ha) 土地利用型作物(大豆、そば、なたね)の定着と生産安定(24ha) 集落営農ビジョンの作成(1集落)と集落営農組合の設立(1集落) <p>〈活動成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 集落営農を実施している集落数 1集落 農用地利用改善団体の設立された集落営農組織の育成 1集落
連携機関、協議会等	須賀川地域集落営農推進協議会、須賀川地域農業経営改善支援センター連絡会議、石川地方農業振興協議会担い手育成部会
取組の特徴や取組に際しての工夫	<p>須賀川地域集落営農推進協議会と須賀川地域農業経営改善支援センター連絡会議は同日開催し、担い手育成の総合的検討ができるよう調整した。</p> <p>また、石川地方農業振興協議会に平成17年度設置された担い手育成部会は構成員が22名と関係機関を網羅し、その下部組織としてプロジェクトチームを設立した。プロジェクトチームは5町村と農協、共済組合、農業普及所からなり、ワンフロアー化を目指した組織となったことで、効率的な担い手育成が可能となった。</p>
【参考】	<p>石川地方農業振興協議会担い手育成部会が目指す概念図</p> <p>あぶくま式地域営農システムの概念図(当面のイメージ)</p> <p>〈地区単位〉 (≒市、IA等) 〈行政区単位〉 (≒大学)</p> <p>地域営農集団 中核担い手集団</p> <p>土地利用設定 (地代) 作物 (収穫物) 作物 (収穫物)</p> <p>地代 地代</p> <p>※平成17年4月、担い手育成部会設立</p>